

竹馬で遊ぼう！ ～竹馬に乗れるようになるには～

社会福祉法人博仁会
川上保育園
バンブーホース

施設長からひとこと

卒園児の保護者から竹馬を贈られたこともあって、伝統的な遊びである「竹馬遊び」をテーマを選ぶ気運が一気に高まりました。対象児のなかには、運動が苦手な子もいて、取り組みが気遣われましたが、思いのほか熱心に取り組み、やがては乗れるようになりそうな期待感を持たせるようになりました。

一緒に取り組んでいる保育士たちの努力と子どもたちの頑張りの成果です。



●所在地	長野県長野市
●構成人員	4名
●メンバー職種	保育士、主任保育士
●施設のQC活動年数	15年
●メンバーの平均年齢	22歳
●本テーマの活動期間	7ヵ月
●本テーマの会合回数	35回
●会合時間	1回平均30分
●主な活動時間	業務時間内外

1 職場紹介

当園は善光寺で有名な長野市にあります。

昭和53年に開設し、0～1歳児クラス、1～2歳児クラス、3～5歳児クラスの3クラス編成で、現在55名の子ども達が通っています。「明るくすこやかにたくましく」を園目標とし、職員全員で日々保育の質の向上を目指しています。

また、環境を考えた節水や、保育中散歩に出た時にゴミ拾いを行うなど、環境教育も積極的に行っています。

2 テーマの選定

当園では、今まで竹馬遊びを取り入れたことはありませんでしたが、昨年度の卒園児から竹馬を寄贈していただき、竹馬に興味を持ち始めた子どもの姿が多く見られるようになりました。しかし、子どもたちの様子を見ると、竹馬に乗って歩く以前に、乗ることさえできない状態が見

受けられました。

竹馬は全身運動のみならず、子どものバランス感覚や集中力の向上にもつながるのではないかと考え、このテーマに取り組むことにしました。

	方針	重要性	環境	実現性	参加全員	総合	順位
竹馬に乗れない	◎	◎	○	◎	◎	23	1
活動の進め方に自信が持てない	○	◎	○	◎	◎	21	2
歌に対する関心が薄い	○	○	◎	◎	◎	21	2
食事マナーが身に付いていない	○	○	◎	○	◎	19	3
身支度に時間がかかる	○	◎	△	◎	◎	19	3

テーマの選定

ポイント ① テーマの選定とテーマ選定理由

竹馬を卒業園児から贈られたことをきっかけに、竹馬についての関心が高まり、施設長の意向も受けたテーマだと思いますが、自分たちなりに評価マトリックスを用いてしっかりとテーマ選定を行っています。また、評価項目に環境を入れている点などは、サークルの独自性があり大変良いと思います。

3. 活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	担当
テーマ設定	→							嶋田
攻め所の明確化	→	→						伊藤
目標設定		→	→					中嶋
方策の立案		→	→					堀内
成功シナリオの追求・実施			→	→				嶋田
効果の確認				→	→			伊藤
標準化と管理の定着					→	→		中嶋
反省・まとめ						→	→	堀内

ポイント ② 活動計画

各ステップの(主)担当を決めています。この担当者一人でこのステップをすべて担当するという意味でなく、このステップのとりまとめ役、推進役という役割で、メンバーの協力を得て活動します。一般的にはステップリーダー制と呼ばれていますが、活動の負荷を全メンバーで分担し合うという点から、大変良い進め方だと思います。

4. 攻め所の明確化

(1) 対象児の把握

① 人数構成

対象の5歳児は、男児6人、女児3人(計9人)です。

② 対象児の様子

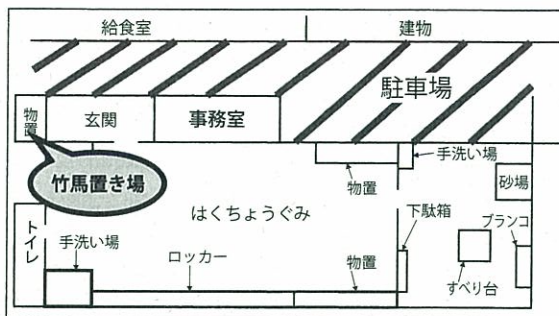
	★活発に体を動かす子 ●体を動かす活動に消極的な子
Hちゃん(5歳11ヶ月)	・積極的に物事に取り組む。 ・園庭での砂遊びを好む。
N君(5歳9ヶ月)★	・活発的で体を動かして遊ぶことを好む。 ・友達とトラブルになることが多い。
K君(5歳7ヶ月)★	・運動遊びに興味を持って取り組む。 ・自ら発言することは少なく、言いたい事を言えない事が多い。
R君(5歳6ヶ月)	・遊びの中心になり、友達と体を動かすことを楽しむ。 ・戦いごっこを好み、友達に対して手が出してしまう。
Y君(5歳5ヶ月)●	・特定の友達と関わる事が多く、自分の気持ちをあまり言わない。 ・自信が持てず、競争などには消極的になってしまう。
Uちゃん(5歳4ヶ月)	・一人で遊ぶことが多く、集団遊びに興味がない。 ・自由遊び時の運動には積極的だが、主活時には消極的になる。
M君(5歳3ヶ月)★	・積極的に体を動かして遊ぶが、一人遊びが多い。 ・自分の思い通りにならないと気が済まない。
A君(5歳2ヶ月)●	・友達と関わろうとするが、すぐに手が出してしまう。 ・体を動かす事が好きだが体力があまり無い。
Tちゃん(5歳2ヶ月)●	・一定の友達との関わりが多く、自ら誘い遊ぶ事が少ない。 ・体を動かす活動に消極的で時間がかかる。

※A君は特別に支援が必要で、他の子どもと一緒に参加はするが対象には入れずに行う。

(2) デイリープログラム

1日のうち、「主活動」の時間(10:20~11:30)を竹馬の時間にあてていました。

(3) 環境構成



※体を動かす活動は駐車場(斜線部分)で行う

(4) バランス感覚の測定

測定期間：平成21年5月15日(金)~5月22日(金)の5日間

測定内容：竹馬に必要なと思われるバランス感覚、集中力を下記の内容で各60秒間測定する。

バランス①…高さ(20cm×20cm×20cm)のある踏み台に乗る。

バランス②…正方形(20cm×20cm)の中から飛び出さないようにしながら、つま先立ちをする。しっかりとかがと上がった状態の時間のみの有効とする。

竹馬に乗る…現時点でどれ位竹馬に乗れるか、

◎…5点、○…3点、△…1点と点数付けをし、測定する。

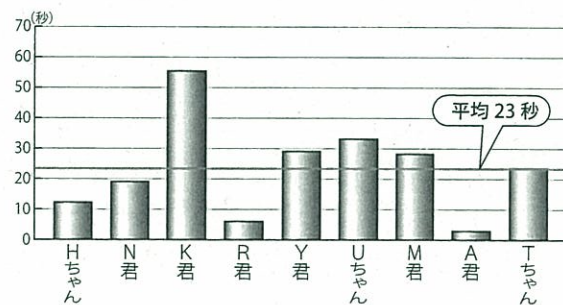
- ◎…自力で竹馬に乗り、5歩以上歩く事が出来る
- …自力では乗れないが多少の補助があれば乗る事が出来る
- △…全く乗る事が出来ない

(5) バランス感覚の測定結果

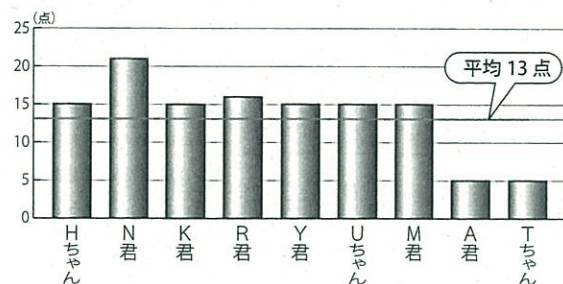
バランス①はA君を除く全員が、目標である60秒を達成することができました。

以下、「バランス②」、「竹馬に乗る」の測定結果です。

バランス②



竹馬に乗る



(6) 現状把握でわかったこと

- ・竹馬に乗る際、後ろに重心が行ってしまう
- ・竹馬に対して転ぶかも知れないという恐怖心がある
- ・集中力が長く続かない
- ・竹馬に興味があっても上手に乗れないためやる気が無くなってしまふ

(7) 攻め所の選定

特性/項目		ありたい姿	現在の姿	ギャップ
Tちゃんの竹馬総合点数		10点	5点	5点
特性を実現させるための項目	身体能力	つま先立ち 60秒/分	45秒/分	15秒/分
	方法	正しい乗り方を知る	正しい乗り方を知らない	指導方法を知らない
		保育士が適切な指導ができる	指導方法を知らない	指導方法を知らない
	道具	毎日時間を取る	時間が決まっていない	時間が決まっていない
	練習	時間	メニューの内容を徹底する	決まっていない
メニュー		決まったメニューをこなす	決まっていない	決まっていない

ポイント ③ 攻め所の明確化

このステップでは、現状をしっかりと調査、把握し、ありたい姿とのギャップを明確にすることが重要ですが、各園児の特徴や園内のレイアウト、バランス力など、広範にわたり現状把握をしっかりと調べており大変すばらしいと思います。

また、「現状把握でわかったこと」を箇条書きでわかりやすくまとめているところも大変良いところで、他サークルにも取り入れて欲しいところです。

5. 目標設定

何を：Tちゃんの竹馬総合点数

いつまでに：8月上旬

どのくらい：現状把握での結果(5点)の倍の10点以上(5日間の平均)

サブ目標：全体の竹馬総合点数(13点)をTちゃんと同じ5点以上に上げる

ポイント ④ 目標設定

目標設定の三要素である「何を」、「いつまで」、「どのくらい」を明確しており、大変良いと思います。

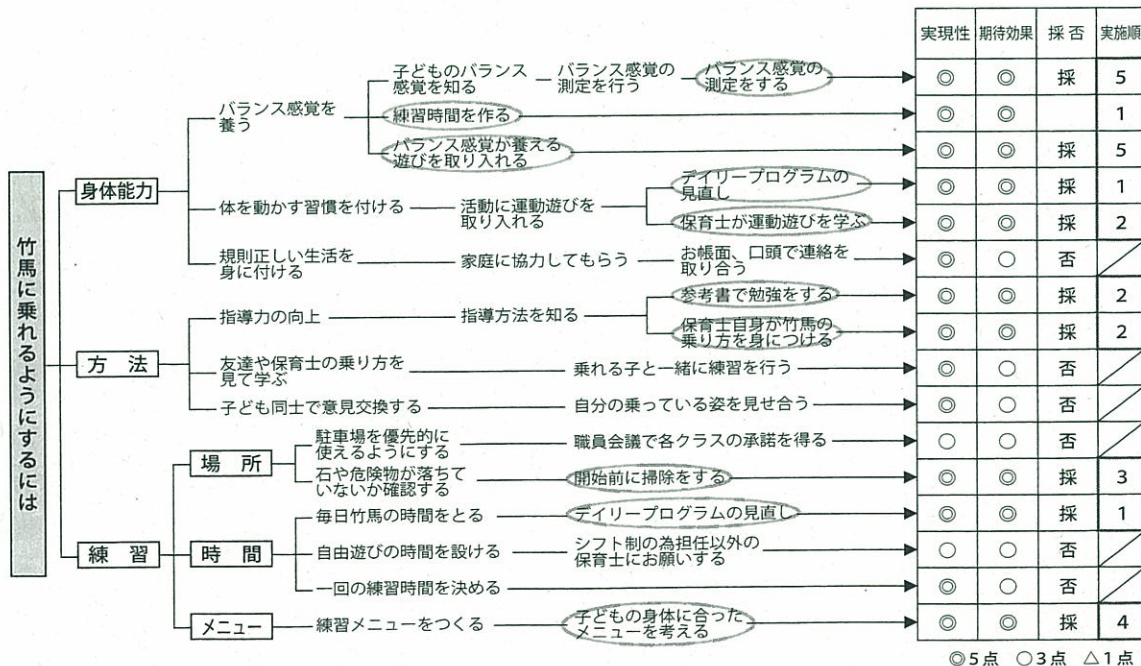
また、目標の中に「サブ目標」も入れています。目標が一つだけでなく、どうしても欠かせない目標が他にもある場合がありますが、このように「サブ目標」として表現すると、大変わかりやすく良いでしょう。

6. 方策の立案と絞り込み

ポイント ⑤ 方策の立案と絞り込み

このステップでのポイントは、実現性を評価項目にしないということです。ここでは対策についてのいろいろなアイデアを膨らまし、幅広く検討するのが趣旨で、実現性を考慮するとアイデアの範囲が狭まってしまうからです。前のステップで選定した攻め所の各項目について、多方面からいろいろなアイデアを出し合うことが必要です。

方策の立案と絞り込み



7. 成功シナリオの追求と実施

実施順	何を	なぜ	どうする	誰が	いつ	どこで
1	保育士自身が竹馬の乗り方を身につける	子どもの気持ちを理解した上で指導するため	参考資料などで勉強し実際に経験する	サークルメンバー	勤務時間外	園内外
2	デイリープログラムの見直し(1)	練習時間がないため	竹馬の時間を設ける	サークルメンバー	昼休み	保育室
3	子どものレベルに合った練習メニューを考える(2)	自信を持って取り組めるようにするため	知識を持ち合い、メニューを作成する	サークルメンバー	昼休み	保育室
4	開始前に掃除をする	落ちている石や危険物などで怪我をしないため	危険なものがないか事前に点検する	サークルメンバー	活動前	駐車場
5	バランス感覚を養う	体を動かしバランス感覚を養えるようにするため	バランス感覚を養える運動遊びを導入する	サークルメンバー	主活動	保育室内外
6	バランス感覚の測定を継続する	現状を把握するため	測定をする	サークルメンバー	自由遊び	保育室

(1) デイリープログラム

改善前

時間	7:15	9:40	10:00	10:20	11:30	16:00
1日の流れ	順次登園 自由遊び	片付け 排泄	朝の活動	主活動	昼食	順次降園

改善後

時間	7:15	9:20	9:30	9:50	10:45	11:30	16:00
1日の流れ	順次登園 自由遊び	片付け 排泄	朝の活動	主活動	竹馬の時間	昼食	順次降園

※上記のように「竹馬の時間」を設け年長児のみ2グループに分かれそれぞれ15分ずつ練習メニューを実施する。

(2) 練習メニューの作成と実施

① 練習メニュー

メニュー内容	目的
① 缶ボックスに乗る	手と足を同時に動かす練習
② 一本の竹馬で歩く	竹馬に足を乗せたまま動かす練習
③ 壁に竹馬を立てかけて乗る	竹馬に足を乗せるタイミングをつかむ練習
④ 補助付き(保育士が支える)で歩く	竹馬に乗り歩いている時の感覚をつかむ練習
⑤ 竹馬に乗り自力で歩く	自ら竹馬で歩く練習

② 実施期間

- 1回目 平成21年6月17日(水)～30日(火)
- 2回目 平成21年7月7日(火)～17日(金)

③ 日程の変更の予測と代替策の検討

予測される日程変更	代替策
雨天の場合 戸外で練習ができない	玄関前の駐車スペース(屋根あり)で行う。
行事があり 練習時間が取れない	翌日に練習を行う。
練習日に欠席し、練習ができない子どもがいる	都合で欠席の場合は翌日に練習を行う。 体調不良で欠席の場合は体調が落ち着いてから再開する。

④ 予測される障害と事前防止策の検討

予測される障害	事前防止策
転倒してケガをする。	常に傍に保育士が付き、不安定な場合は手を貸す。
転倒して倒れた竹馬が周りの友達にぶつかる。	一人ひとり間隔を空けて練習を行う。
竹馬の足を乗せる部分のストッパーがゆるむ。	開始前に竹馬の安全点検を行う。

ポイント⑥ 成功シナリオの追求と実施

対策の立案では、5W1Hでしっかりと具体化されています。

また、予定した日程に変更があった場合の代替案や予測される障害とその事前防止策も検討もされており、他サークルの参考となる、大変良い点です。

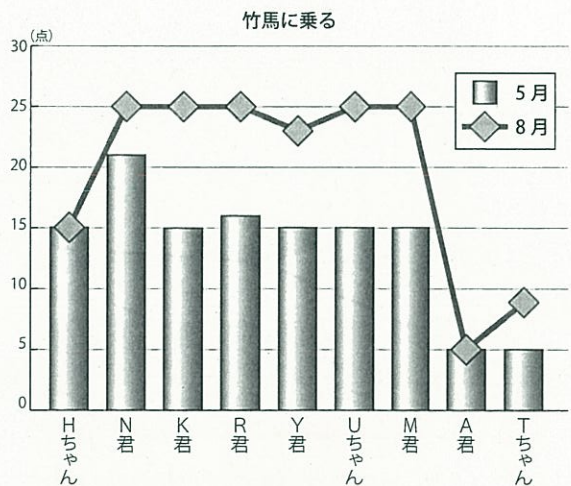
8. 効果の確認

(1) バランス感覚の測定

測定期間：平成21年8月17日～21日の5日間

測定方法：現状把握と同じ方法で計測を行う

バランス感覚測定の5月、8月の各5日間の平均比較



(2) Tちゃんの竹馬総合点数

5点(5月) ⇒ 11点(8月)

《目標(10点)を達成》

(3) 全体の竹馬総合点数(平均点)

13点(5月) ⇒ 20点(8月)

《目標(18点)を達成》

(4)波及効果

- バランス感覚を養うことができた
- 竹馬に乗れるようになったことで自信がつき、何事にも積極的に取り組むようになった
- 一つのことに集中する時間が長くなった
- 自分のことだけでなく、友だちに教えたり補助したりする姿が見られるようになった
- 運動会の種目に竹馬を取り入れ、保護者にも子ども達の成果を見ていただくことができた

ポイント ⑦ 効果の確認

サブ目標も含め目標を達成し、皆さんの努力が報われた結果となって良かったです。

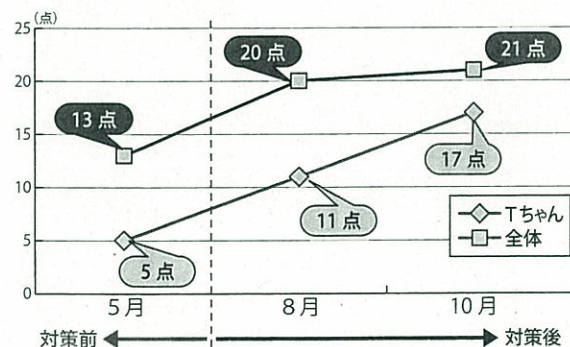
また、数値上の効果だけでなく、波及効果として園児たちの行動の変化まで幅広く効果をアピールすることで、感動を呼び起こします。

9. 標準化と管理の定着

(1)標準化

何を	なぜ	どうする	誰が	いつ	どこで
練習メニューを継続する	身に付いた感覚を保つため	時間を作り練習を続ける	5歳児	運動の時間	園内外
竹馬について知識を得る	より知識を深めるため	参考書を見るなどして、知識を得る	サークルメンバー	月1回のクラス会	園内外

(2)管理の定着



まとめ

「竹馬遊び」という日本の伝統的な遊びを指導し、伝統を継承すると共に園児たちの発育にも大きな効果を発揮したすばらしい活動だと思います。

一つのことに集中してしっかりと取り組むことで、身体能力だけでなく集中力も高まり、上手くなったという達成感や喜びを得ることができた上に、さらに友達とのお付き合いも深まるという大きな波及効果を生んだことと思います。

また、課題達成型QCストーリーを大変うまく使いこなした好事例です。

「明るく、すこやかに、たくましい」保育園を目指して、引き続き今後も頑張ってください。

(QCサークル関東支部 羽田源太郎)

ポイント ⑧ 標準化と管理の定着

このステップでは、効果のあった施策を標準化し、仕組みとして効果が持続するようにします。

管理の定着で、その後も効果が継続していることを、データでしっかり確認しており、他サークルも学んで欲しい点です。

10. 反省とまとめ、今後の課題

(1)反省とまとめ

	良かった点	苦労した点
テーマ選定	子どもたちの興味のある事をテーマにできた。	総合点数にあまり差が見られなかった。
攻め所の明確化	竹馬の一つ一つの動きを分解し、様々な視点から測定することができた。	竹馬に乗れない保育士がいたため見本となる時に苦労した。
目標設定	子どもに合った無理のない目標を立てる事ができた。	子どもに無理のない点数とはどこなのか悩んだ。
方策の立案	手法通りに進めていくことで問題点が明確化し、対策が立てやすかった。	実施順位を決めるのに戸惑った。
成功シナリオの追求・実施	子ども達に無理がない練習メニューが作成できたため、子ども達の竹馬への興味・関心がより増した。	乗りこなすまでに個人差が大きくあり、個々への対応に苦労した。
効果の確認	練習メニューを定期的に行う事で、竹馬の乗り方・歩き方等を理解し、測定結果が大幅に上がった。	8月の暑さの中で計測となり、子ども達に負担があったように思った。
標準化と管理の定着	標準化したことで今後に生かせるマニュアルができた。	行事の時期と重なってしまい、なかなか時間が取れなかった。
ミーティング	協力して意見を出し合う事ができた。	メンバーが揃わず全員で話し合う時間が取りづらかった。

(2)今後の課題

- ・ 練習メニューをマニュアル化し、来年度も取り入れられるようにする。
- ・ 定期的に練習メニューを継続する。

ポイント ⑨ 反省とまとめ、今後の課題

各ステップについて良い点、苦労した点をまとめ、今後の課題を的確にまとめています。